

あんしん



みんなが笑顔で、安心できる「まち、暮らし」

- ① 安心して子育てができるよう世代を超えてつながる場づくりを実現する
- ② 誰もが働きやすい社会づくりを推進する
- ③ 世界平和を願う運動体として進む



ウクライナ緊急募金を呼びかける県立三木北高校の皆さん
(コープ三木緑が丘)

たくさんの善意をお寄せいただきました

2022年度も宅配や店舗でさまざまな募金活動に取り組みました。たくさんの組合員の皆様のご協力により、総額1億5000万円を超える善意が寄せられました。

それぞれの用途に沿って、組合員のボランティア活動や平和活動への助成、高校生への奨学金、兵庫県ユニセフ協会やハート基金への寄付、地域団体へのお米の寄贈を通じた暮らしの支援などに役立っています。また、ウクライナの紛争とトルコ・シリア地震の発生を受けて緊急募金を行い、現地の方の支援に役立っています。

これからも誰もが安心して笑顔で暮らしているよう、力を寄せ合って暮らしの課題に取り組んでいきます。

居住支援に協力しています

第1地区では、コープこうべと尼崎市、コープこうべとつながりのある支援団体で協定を結び、「あまがさき住環境支援事業REHUL(リーフル)」が始まりました。尼崎市の市営住宅の空室をさまざまな支援団体の活動の場として活用する取り組みです。趣旨に賛同する支援団体には市営住宅の使用が認められ、シングルマザーや留学生などの住居、活動のための事務所などとして使用されています。3月末現在、ネットワーク団体は16団体に広がっています。



空き部屋の片付けをして活用

地域ぐるみで子育てを応援します

神戸市社会福祉協議会(以下、社協)と「こどもの居場所づくり推進協定」を締結しました。近年、子ども食堂などの居場所が増え、市民や企業から社協に届く支援物資も増加。それらの物資を受け入れ、支援団体に提供する拠点として、神戸市内にある宅配や店舗の施設を活用していきます。今後も社協・支援団体との交流を深め、地域で子どもたちを見守る力を強めていきます。



3月3日に行われた協定締結式

コープのお買い物ができる地域の拠点を広げています

兵庫六甲農業協同組合(JA兵庫六甲)と包括連携協定を締結しました。この協定により、コミュニティの維持・発展、生産者と消費者をつなぐ活動などにおいて、さらに連携を深めます。取り組みの一つとして西宮山口JAセンターで「地域めーむひろば」を開始しました。注文した宅配商品もJAで受け取れるサービスです。



JA兵庫六甲の支店で行われている「地域めーむひろば」

また、加東市や小野市、宍粟市などの神戸新聞販売店とも連携し、「地域めーむひろば」を広げています。毎週の商品の受け渡しを通じて交流が生まれ、つながりの場となることをめざしています。

コープこうべの店舗がないエリアでも地域とのつながりを大切にしながら、コープのお買い物を楽しんでもらえるよう地域の団体と連携を強めています。



「地域めーむひろば」を実施している神戸新聞販売店

日々の暮らしの中でできる災害対策を学びました

第3地区では、新設の協同購入センター東神戸で施設見学も兼ね、防災、減災について親子で学ぶイベントを実施しました。

災害が起きたときに実践できるよう、身近にある牛乳パックやペットボトルを利用し、防災グッズづくりや活用方法を紹介するなど、お子さんにも分かりやすく、楽しく学びました。地域の防災拠点としてのあり方を考える機会にもなりました。



協同購入センター東神戸の構内で行われた消火訓練

「もしも」に備えて取り組んでいます

10月、内閣府などが主催する「第7回防災推進国民大会(ぼうさいこくたい)」がHAT神戸(神戸市中央区)などで開催されました。2日間でのべ約320団体が出展。災害の知識や経験を共有しました。コープこうべは(公財)味の素ファンデーション、食べる支援プロジェクトと共催で「いざという時どうする?あなたの食と栄養」と題したワークショップを実施。コープこうべがすすめる「BOSAIキッチン」の取り組みを神戸学院大学栄養学部・伊藤智教授、兵庫県立芦屋高校(芦屋市)、兵庫県立西宮今津高校(西宮市)の生徒と共に発信しました。



災害時に役立つ調理や備蓄の大切さを伝えるワークショップ

行政が行う子育て支援の取り組みに協力しています

加西市の子育て見守り支援事業「かさいすくすく子育て定期便」の宅配業務を受託しました。0歳児がいるご家庭を対象に、生後3カ月目から満1歳の誕生日まで月1回、紙おむつやミルクなど、希望する育児用品2点を無料でお届けするとともに、赤ちゃんと保護者の見守りを行っています。

また、池田市の子育て支援の取り組みに賛同し、出産祝品の提供を始めました。出生届を提出された際、市役所の職員が窓口で祝品としてガーゼハンカチ、フリーザーバッグ、おしりふき2パック、サーモボトルを渡しています。



親子の見守りを兼ねて育児用品をお届け



池田市と協同で取り組みを発表

イクハク ベスト育児制度賞をいただきました

2021年度に高校生向けの奨学金制度を開始。行政、学校、地域の団体との連携がスムーズに行えるよう、2022年6月に「一般財団法人コープこうべ奨学金財団」を設立し、奨学金事業の運営を移管しました。奨学金の愛称は組合員から募集し「てとて」に決定。

9月には育児世代向けのWebサイトを運営する一般社団法人日本子育て制度機構から、「2021年度イクハク ベスト育児制度賞」を受賞しました。これからは次世代を担う若者の学びや活動、夢の実現を応援していきます。



イクハク ベスト育児制度賞 受賞式の様子



コープこうべの奨学金

「買い物行こカー」を広げています

「買い物行こカー」は、6月にコープ朝霧、8月にコープ播磨、10月にコープ加西、11月にコープ山本、コープ宝塚、コープ志染で運行を開始しました。

2023年3月末時点で35店舗31台が運行しており、3536人が登録しています。



コープ宝塚で「買い物行こカー」の運行を開始

「平和」を「未来」につなぐため、若い世代と「平和」について学んでいます

2023年3月、広島市内の遺構を自転車で巡る旅に、尼崎市の高校生6人が参加。原爆3世のガイドの方から話を聞き、「平和」のために何ができるかを考えました。

同じく3月、東日本大震災の被災地の人たちから学ぶ「虹っ子平和スタディツアーin福島」を開催。中学・高校生17人が参加し、福島の現状や情報の大切さ、福島の食の安全性などを学びました。旅のようすは、ワカモノ応援サイト「Konoyubi」に掲載しています。



福島県で放射線量測定を体験



広島の被爆地域を自転車で巡る高校生

障がいのある方の就労や実習の場を提供しています

障がい者支援団体と協働でコープ大久保の「めーむひろば」の運営を行っています。「めーむひろば」は、宅配カタログ「めーむ」で注文した商品を店舗で受け取れるサービス。社会福祉法人明桜会「サポートセンター曙」の利用者による商品の仕分けや受け渡しを始めました。

これからも福祉事業所との連携や障がいのある方の活躍の場づくりをすすめていきます。



商品の受け渡しを行う福祉事業所の利用者

多様な人を認め合う優しい職場づくりをすすめています

コープこうべの事業所では、障がいのある方も働きやすい職場づくりに取り組んでいます。

特例子会社「阪神友愛食品株式会社」のサポートを受けながら、多様な人を認め合う優しい職場づくりをすすめています。



協同購入センター西宮での倉庫作業



阪神友愛食品(株)のホームページ

ウクライナ避難民の生活を応援しています

ウクライナから避難されている方の生活を応援するため「ハート基金(コープこうべ災害緊急支援基金)」から拠出しています。行政や地域団体などと連携しコープこうべの活動エリアに避難されている方に呼びかけ。その中で組合員になっていただける方を対象に、コープこうべの店舗で使える電子マネー10万円分を拠出金でチャージした「コピーカード」を、2022年度は56世帯に各1枚お渡ししました。一部の避難民の方は、店舗で就労もされています。



避難民の方の就労に向けた面接を実施(コープ北鈴蘭台)